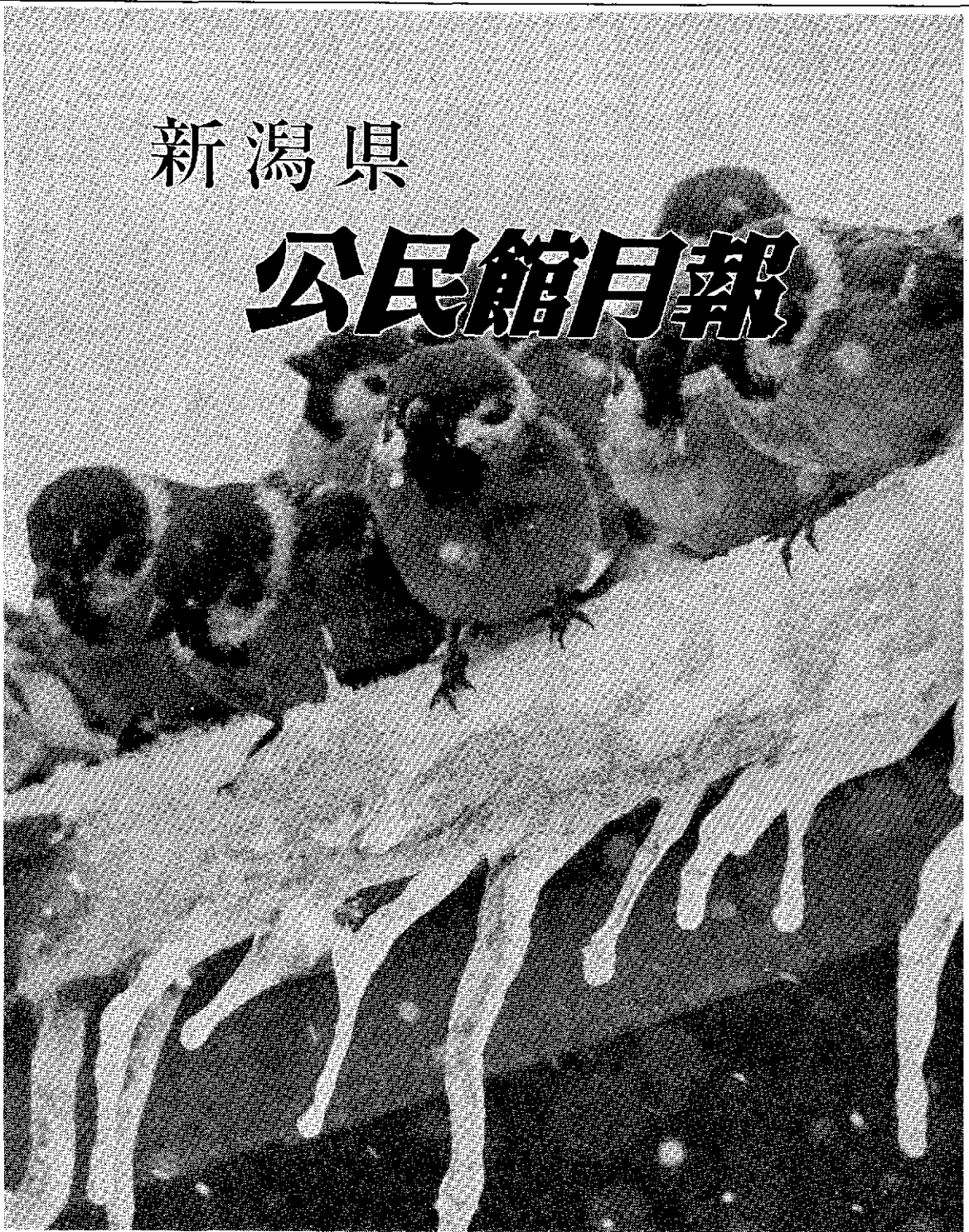


新潟県

公民館月報



昭和52年2月号

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市一番堀通町・県教育庁社会教育課内】
【電話・(新潟) 6111 内線 326】 【振替新潟 4094】

発行人 会長 石井耕一
編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 70円 年 840円】

春を待つ

とめどもなく落ちてくる
すすけた綿のような降た雪も
地面から吹き上げてくるこな雪
も

待ては必ず止むときがくる

凍てついて

流れさえ止めるま冬日の川も

ぽっかりと割れて

うごきはじめる日は近い

軒先を埋める雪の体積さえ

ゆっくりと

春に向けてゆるむのだ

待つことを知っている者たちの

この自若たる顔

(本)

施設費補助57億に前進



公民館補助を重点にしてほしいと小川自治大臣にも陳情する

一館当り二百萬のアップ

生涯教育推進事業は二十億

昭和五十二年年度の公民館施設費国庫補助および生涯教育推進事業費増額運動は、前年度以来の政変劇のあおりをうけ、年明けの一月十二日から実施された。

不況下の財政事業をふまえた国の厳しい予算編成方針と対決しつつ、全公連は公民館振興市町村長連盟とタイアップして緻密な運動を展開

した。

十二日、大蔵省原案内示は施設費で五十億円と前年同額と出、前途多難を思わせたが、十七日政府原案決定までにいたる六日間にわたるねばり強い運動の結果、施設費補助総額五十七億六千四百万円、生涯教育推進事業補助二十億二千万円を獲得した。

この運動は、まず都道府県公民館大会、地区大会、全国大会等の法議にもつき、各都道府県ごとに実施している第一期運動の成果をふまえて、文部省が大蔵省に対して要求した昭和五十二年公民館建築費補助七十二億八千万円と生涯教育推進事業費三十二億一千八百万円を獲得するためのもの。

これも第一回は東京立河町の都市センター、第二次を砂防会館を運動本部として都道府県公連代表と公民館振興市町村長連盟の代表が、それぞれ国会議員、大蔵省・文部省等に対し、情況に応じてマン・ツリー・マン方式で直接的に陳情をすすめた。

本県からは、石井本会長以下四名が参加、最終日まで全力をあげて努力した。

とくに石井本会長は、全公連理事・公振連代表という立場から元文相稲葉代議士など各代議士はもとより、海部文部大臣、小川自

公民館施設費補助

総額	(51年度予算)	(52年度予算)
	50億円	→ 57億6,400万円
1館当り補助額	2,000万円	→ 2,200万円
補助対象館数	250館	→ 262館

生涯教育推進事業補助

総額	(51年度予算)	(52年度予算)
	20億7,200万円	→ 20億20万円
1. 生涯教育指導事業	8億5,500万円	→ 9億7,100万円
生涯教育指導者研修、生涯教育情報提供事業、家庭教育相談事業、郷土学習教材製作奨励		
2. 生涯教育学習事業	5億6,600万円	→ 6億5,500万円
青年学級、青年教室、婦人学級、家庭教育学級、乳幼児学級、高齢者教室、成人大学講座		
3. 生涯教育地域活動	5億100万円	→ 2億220万円
青少年ふるさと運動促進、青年仲間づくり推進、婦人ボランティア活動促進、(PTA活動促進、校庭開放) → (体育局で措置)		
4. 社会教育施設活動	1億5,000万円	→ 1億7,200万円
母と子の公民館活動促進、博物館活動促進		

陳情の強力な推進力となった。こうして、政府原案決定まで本部に占めり十八日ようやく帰郷した。

補助については別記のとおり、施設費で一館当り二百万円アップ五十七億六千四百円と二億の伸びを見たものの、前年度の公民館施設費補助の執行額が他の社会教育施設建設の倍増分を上乗せしたことから、実質的に五十九億円を超えるという実績を示していることまた市町村における建設熱が一層高まっている折柄、その配分についてはかなりの厳しさも出てく

ることが予想される。

昭和五十二年年度に本県において建設される予定の公民館は、左表のように新潟県中地区公民館、柏崎山北館、回田公民館など七館の申請がなされており、これら市町村の建設熱に心をいっしょくとは今後の大きな課題となる。

公民館関係法令集

内容・教育基本法・社会教育法・社会教育施行令・公民館運営施設基準・通達(公民館基準の取り扱いについて)

A5版 34ページ

一冊150円(送料別)

申込先・県公連事務局

昭和52年度県内の公民館施設建築計画

(県社会教育課調べ)

設置者	設置者 人口 (対人 象口)	施設の名 称 (仮 称)	構 造	建 物 延面積	工事費 (用地購 入を除く)	用地の保 護		建 築 計 画			5: 度 前 年 度 に 算 入 の 額 千 円	国 庫 助 成 の 有 無	施設の状態		
						済	未済	着 工 年	完 工 年	月			月	既設 の 老 朽 等 の 他	
新潟市	423,407 (44,700)	新潟市中地区 公 民 館	鉄筋 コン クリ ート 2階 1階 地区 事務 所 2・3階 公民 館	1,575	266,749	○		昭 和 50年 10月	昭 和 52年 10月	88,340	有	○			
柏崎市	80,505 (2,410)	北鯖石公民館	鉄筋	400	53,200	○		"	"		有	○			
柏崎市	80,505 (4,640)	田尻公民館	鉄筋 一鉄	760	89,200	○		"	"		有	○			
十日町市	50,602 (4,502)	下条地区公民館	鉄筋 2階建	650	85,000	○		"	"		有	○			
白根市	32,895 (1,996)	茨曾根地区公民館	鉄筋 2階建	663	82,924	○		"	"		有	○			
村上市	33,082 (2,445)	村上市中央公民館 上海府分館	鉄筋 2階建	493	45,374	○		"	"		有	○			
頸城村	8,243 (2,639)	明治分館	木造 2階建	354	38,700	○		"	"		有	○			

存続を期し、前記公民館建設と併せて、自然教育館の樹立を期す。県立自然教育館の建設は、富山・石川を中心として、日本海側沿線に多額の建設費を要する。この早期建設を急務とする。県民一般、児童青年の生活向上の観点から、広い地域に整備するため、敷地面積を確保し、あわせて、多面的に確保されるようにします。

4. なお、自然教育館も学校教育関係の施設として整備されるものとする。

(懇話会加盟団体・その代表者)

- 松原義一 平作誠
- 石井研三 山根三郎
- 滝澤徳久 長谷川力三
- 小林力三 辛作一
- 小泉石本 大井ヒデ
- 下井立 成光
- 岩間信一
- 協賛会 松本友太郎
- 協賛会 坂本武蔵
- 協賛会 藤田重之助
- 協賛会 佐藤清
- 協賛会 斎藤公三
- 協賛会 斎藤幸次
- 協賛会 斎藤幸三
- 協賛会 斎藤幸四
- 協賛会 斎藤幸五
- 協賛会 斎藤幸六
- 協賛会 斎藤幸七
- 協賛会 斎藤幸八
- 協賛会 斎藤幸九
- 協賛会 斎藤幸十
- 協賛会 斎藤幸十一
- 協賛会 斎藤幸十二
- 協賛会 斎藤幸十三
- 協賛会 斎藤幸十四
- 協賛会 斎藤幸十五
- 協賛会 斎藤幸十六
- 協賛会 斎藤幸十七
- 協賛会 斎藤幸十八
- 協賛会 斎藤幸十九
- 協賛会 斎藤幸二十



要 望 書

要望事項
県立社会教育会館建設を早期に計画していただき。

趣 旨

- わたたくしは、昭和50年11月に、県立社会教育会館建設に際し、県民文化センターを兼ねて、民間に委託して建設することを希望して、県教育委員会に陳情し、おかげで、県教育委員会から、建設費の補助を受けていただき、誠にありがとうございます。
- また、かねて県におかれて、民間に委託して建設することを希望して、県教育委員会に陳情し、おかげで、県教育委員会から、建設費の補助を受けていただき、誠にありがとうございます。
- つきましては、県財政多額の折上は、

社会教育会館建設 再度県幹部に要望

県社会教育協会、県公民館協会、県内各自治体の社会教育関係者など、計13団体で、再度、県の関係方面に対して、県立社会教育会館建設について要望書を提出した。

この要望書は、県立社会教育会館建設について、明瞭な方針を打ち出されたい、確かな予算が確保されたい、関係団体代表が、さる一月二十一日、県庁に提出した。

以下はその要望書。

「社会教育会館」の建設につき、確かな方針を打ち出されたい、確かな予算が確保されたい、関係団体代表が、さる一月二十一日、県庁に提出した。

以上はその要望書。

全国公民館数(公立)

(文部省大臣官房調査統計資料による)

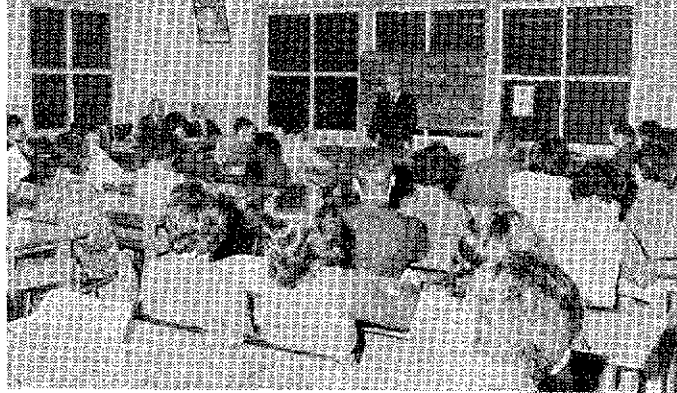
館						分 館									
330 } 500	500 } 750	750 } 1,000	1,000 } 1,250	1,250 } 1,500	1,500 m ² 以上	計	150m ² 未 満	150 } 250	250 } 330	330 } 500	500 } 750	750 } 1,000	1,000 } 1,250	1,250 } 1,500	1,500 m ² 以上
43	45	12	26	18	34	111	20	33	32	13	9	2	2	-	-
36	39	13	7	4	10	246	156	43	16	21	6	3	-	1	-
38	32	16	15	4	5	307	198	47	20	28	11	2	1	-	-
45	25	16	18	11	16	227	141	55	22	5	4	-	-	-	-
52	35	20	18	9	6	386	244	75	28	19	9	5	2	2	2
94	44	10	6	3	27	317	194	72	23	17	6	4	-	1	-
53	36	20	18	12	14	220	105	46	45	15	7	1	-	-	1
23	21	9	11	5	14	218	129	48	16	18	3	1	1	-	2
39	29	8	15	7	4	74	22	13	5	4	1	1	-	-	-
55	30	11	6	5	7	40	14	13	4	9	-	-	-	-	-
114	42	18	10	7	6	80	59	17	2	1	-	-	-	-	1
42	30	15	16	10	9	99	45	33	11	4	6	-	-	-	-
11	7	2	-	1	7	7	-	1	1	4	1	-	-	-	-
33	23	8	4	4	7	17	5	2	-	8	2	-	-	-	-
44	21	18	12	4	20	414	238	56	42	35	26	6	1	4	6
53	18	3	5	2	1	75	46	22	3	4	-	-	-	-	-
47	27	9	8	2	3	29	11	2	5	6	5	-	-	-	-
49	36	4	9	4	4	31	19	5	-	5	2	-	-	-	-
43	20	14	8	2	3	296	221	59	6	3	2	2	2	-	1
23	39	33	19	13	16	1,627	773	414	184	164	60	16	4	7	5
58	42	16	17	6	13	39	4	7	7	12	5	3	-	-	1
36	41	14	7	10	10	31	8	9	2	8	4	-	-	-	-
83	60	24	11	8	12	103	41	34	8	11	5	2	2	-	-
53	22	9	4	4	1	120	63	29	13	8	6	1	-	-	-
20	17	6	11	-	9	9	4	3	2	-	-	-	-	-	-
20	13	3	1	5	3	63	42	12	6	3	-	-	-	-	-
30	13	8	4	3	8	31	10	8	7	4	1	1	-	-	-
43	24	13	14	12	22	87	25	5	27	12	9	4	-	-	5
32	14	8	2	6	8	258	168	56	16	14	4	-	-	-	-
20	20	9	5	1	3	145	106	23	6	9	1	-	-	-	-
26	17	8	4	4	4	11	3	2	1	3	1	-	-	-	1
78	22	9	2	6	6	30	13	6	3	3	4	1	-	-	-
53	37	16	6	9	11	151	69	42	17	18	5	-	-	-	-
70	60	21	12	8	15	102	45	20	13	15	8	1	-	-	-
55	49	19	12	9	14	47	14	21	8	2	2	-	-	-	-
46	18	8	5	-	2	100	66	22	6	5	-	-	-	-	1
47	22	14	5	1	3	57	24	12	6	10	4	-	1	-	-
77	69	20	10	3	6	101	30	37	13	16	4	-	-	-	1
46	24	10	1	1	5	83	33	21	9	14	5	1	-	-	-
65	62	30	14	10	16	15	8	5	-	-	2	-	-	-	-
30	28	4	12	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	34	21	16	6	7	8	5	2	1	-	-	-	-	-	-
32	22	20	9	7	10	88	32	19	9	16	8	3	1	-	-
36	30	12	4	6	10	57	17	9	8	19	3	-	1	-	-
23	27	11	9	5	5	5	-	1	2	1	-	-	-	-	1
40	31	18	10	6	13	83	14	22	12	18	9	6	-	2	-
1	1	4	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2. 077	1. 418	623	440	266	435	6. 618	3. 485	1. 483	667	604	250	66	18	17	28

建物面積区分別

(注) 専用施設を有しない公民館(443館)を除く。

区 分	計										本			
	計	150㎡ 未満	150 } 250	250 } 330	330 } 500	500 } 750	750 } 1,000	1,000 } 1,250	1,250 } 1,500	1,500 ㎡ 以上	計	150㎡ 未満	150 } 250	250 } 330
北海道	362	36	62	51	56	54	23	28	18	34	251	16	29	19
青森	389	173	53	23	57	45	16	7	5	10	143	17	10	7
岩手	250	247	84	37	66	43	18	16	4	5	213	49	37	17
宮城	388	154	62	32	50	29	16	18	11	16	161	13	7	10
秋田	567	261	92	35	71	44	25	20	11	8	181	17	17	7
山形	581	224	96	49	111	50	14	6	4	27	264	30	24	26
福島	436	125	68	66	68	43	21	18	12	15	216	20	22	21
茨城	415	181	87	39	41	24	10	12	5	16	197	52	39	23
栃木	191	43	22	18	43	30	9	15	7	4	144	20	9	13
群馬	223	34	37	29	64	30	11	6	5	7	183	20	24	25
埼玉	435	132	69	35	115	42	18	10	7	7	355	73	52	33
千代田	257	57	51	17	46	36	15	16	10	9	158	12	18	6
東京	45	-	7	4	15	8	2	1	1	7	38	-	6	3
神奈川県	123	12	11	11	41	25	8	4	4	7	106	7	9	11
新潟	612	280	78	57	79	47	24	13	8	26	198	42	22	15
富山	348	163	81	18	57	18	3	5	2	1	273	117	59	15
石川	228	40	34	47	53	32	9	8	2	3	199	29	32	42
福井	204	41	28	22	54	38	4	9	4	4	173	22	23	22
山梨	489	264	97	28	46	22	16	10	2	4	193	43	38	22
長野	1,818	800	428	191	187	99	49	23	20	21	191	27	14	7
岐阜	281	35	40	33	70	47	19	17	6	14	242	31	33	26
静岡県	180	14	19	17	44	45	14	7	10	10	149	6	10	15
愛知県	378	60	72	28	94	65	26	13	8	12	275	19	38	20
三重	335	117	64	46	61	28	10	4	4	1	215	54	55	33
滋賀	123	26	22	12	20	17	6	11	-	9	114	22	19	10
京都	161	65	28	20	23	13	3	1	5	3	98	23	16	14
大阪	138	30	19	17	34	14	9	4	3	8	107	20	11	10
兵庫	311	64	35	54	55	33	17	14	12	27	224	39	30	27
奈良	367	180	70	29	46	18	8	2	6	8	109	12	14	13
和歌山	346	184	65	29	29	21	9	5	1	3	201	78	42	23
鳥取	160	44	26	22	29	18	8	4	4	5	149	41	24	21
島根	272	53	57	31	81	26	10	2	6	6	242	40	51	28
岡山	384	109	80	40	71	42	16	6	9	11	233	40	38	23
広島	402	83	59	50	85	68	22	12	8	15	300	38	39	37
山口	263	29	43	29	57	51	19	12	9	14	216	15	22	21
徳島	243	89	49	20	51	18	8	5	-	3	143	23	27	14
香川	195	37	31	20	57	26	14	6	1	3	138	13	19	14
愛媛	369	60	65	38	93	73	20	10	3	7	268	30	28	25
高知	243	70	42	24	60	29	11	1	1	5	160	37	21	15
福岡	333	31	51	52	65	64	30	14	10	16	318	23	46	52
佐賀	115	13	13	8	30	28	4	12	1	6	115	13	13	8
長崎	155	17	23	11	20	34	21	16	6	7	147	12	21	10
熊本	293	70	64	31	48	30	23	10	7	10	205	38	45	22
大分	248	54	43	30	55	33	12	5	6	10	191	37	34	22
宮崎	99	3	7	7	24	27	11	9	5	6	94	3	6	5
鹿児島	251	27	49	22	58	40	24	10	8	13	168	13	27	10
沖縄	13	1	2	1	1	1	4	1	2	-	13	1	2	1
全 国	15,289	4,832	2,685	1,530	2,681	1,668	689	458	283	463	8,671	1,347	1,202	863

加茂市公民館



大学開放講座受講風景

実践記録シリーズ

(22)

全参加者による運営

“われらの大学開放講座”

「実践記録」のあれこれ、いろいろと反響を呼んでいます。あなたもぜひ書いてみてください。

九月号の県公民館誌を深めようとする中で、無意識に「われらの意識」が、一冊としてまとまり、

「われらの意識」があり、ましてや公民館をどうして

「われらの意識」が、一冊としてまとまり、

「われらの意識」が、一冊としてまとまり、

「われらの意識」が、一冊としてまとまり、

「われらの意識」が、一冊としてまとまり、

「われらの意識」が、一冊としてまとまり、

「われらの意識」が、一冊としてまとまり、

「われらの意識」が、一冊としてまとまり、

「われらの意識」が、一冊としてまとまり、

「われらの意識」が、一冊としてまとまり、

「われらの意識」が、一冊としてまとまり、

「われらの意識」が、一冊としてまとまり、

「われらの意識」が、一冊としてまとまり、

「われらの意識」が、一冊としてまとまり、

「われらの意識」が、一冊としてまとまり、

「われらの意識」が、一冊としてまとまり、

全国大会参加の記

諸問題に気づく

神田 久雄

往復の旅を含めて三日を要する全国大会に参加する。この新潟市公民館からの要請に、

「われらの意識」が、一冊としてまとまり、

「われらの意識」が、一冊としてまとまり、

地域社会の発展と豊かなくらしづくりにお手伝い

県内はもちろん、広く県外へのびた(だいし)のネットワークは111カ店。皆さまの明日の豊かなくらしを願って日々努力を重ねています。

くらしの夢を育てる



第四銀行

本店/新潟市 創立/明治6年

愚老警世

荒木秀三

一、良寛さまに心ひかれて

「臺灣の良寛記念館は、日本海の向いに佐渡ヶ島を一望のうちにあり、東に越後の名山妙香山、良寛ゆかりの四上山を望み、退くに良寛生地の良寛堂、背後に橋屋先祖伝来の墓を控えた虎岸ヶ丘に、谷口博士苦心の設計による、清浄で荘厳な姿を見せる。良寛さまを祀るには最適でまさに聖地の感ぜざるを得ぬ。

昭和四十年の開館以来參觀者は年々増し、昭和五十一年度は半



海は力を合わす
 二、弱い社会教育

“温故知新”大切に

“生涯教育”に徹した良寛さま

「二十余年にわたる精魂を結ぶに及ぶ奉仕による波瀾である。三類の心。良も町も、いや越後人への功績に心から敬意と感謝を捧げるものである。然し私は三人の方々に「ありがとうごさいま」がたがよう。」と言われよう。に「今後とも願ひします。」というだけでは済まされぬと思う。私手前味噌と笑うなかれ。

進むべきもある。こんな風に考える。もはやたごきなるならば社会教育の占める比重はまことに大きなものがあると思う。近頃「老人大学」「婦人学校」「PTA研修」「青年講習」「日く何」「日く何」といってこれこれの活動が、使命も活動も重く大なるものがあ

に気付かない。私達にはこの問題に取組まなければならぬ。更に一言、生涯学習における最もよむからぬが、多くとも文化行政の先を急ぐ新を求めるとのみならず、自己満足に陥りかねない。そして自分にはあつたまの誠し、謙虚に反省しながら進むことを良寛さまはその七十四年の生涯を通じて生涯教育、生涯学習を身をもって実践された方である。弘

れたと思う。あれから幾歳、県の上層部や県議会がこれに報いる熱意を示してくれただろうか。恐にはよむからぬが、多くとも文化行政の先を急ぐ新を求めるとのみならず、自己満足に陥りかねない。そして自分にはあつたまの誠し、謙虚に反省しながら進むことを良寛さまはその七十四年の生涯を通じて生涯教育、生涯学習を身をもって実践された方である。弘

学校教育と社会教育は車の両輪である。然し「田舎で静かなに眺めていると、果してこの二つの輪が同じ大きさで同じ力で、進めていけるだろうか」と最近いって年々さしものでもない。その真意は敬虔な態度には頭の下る思いがある。私達新潟県人は「灯台も暗し」などと簡単に言いつけるわけにはゆかないと思

「苦勞苦勞」と人の馬の転んだような態度でいることに許されない。国を挙げてもう一度社会教育の原点を見つめ、社会教育全体の体系を確立し、予算も組織も陣容も整備して、学校教育と並んだ車の両輪としての点の力と形をつくるべきである。

法大師以来あれほど和漢の学に通じ、あれほど修行を積んだ名僧はないと言われながら、自ら「大愚」と称して、常に「清新」を求めて邁進された。もって範とすべきではなからうか。

物好きに書き添えておけばよいという安易な姿勢があつたと思はれる。それは人間性である。県民一人一人が文化財に対する理解と関心を深めてゆかなければ、いつまでも後進県の汚名を背負うことはできないと思う。

(寺泊山公民館長)



さあ次は全国(新潟)大会
 みんなの力で成功させよう

なるが故に、良寛さまの正面で真面目に人柄がよく、謙虚と清廉を貫き通した七十四年の生涯を、人生行路に心ひかれて採録されるものと思ふ。

それにしては町営でもなく県立でもなく、さきやか財団法人で開館初年度六千人にも満たなかつた參觀者が、今この盛況を見るに至つたのは建設の功勞者生みの規、佐藤晴生先生の慧眼と佐藤理

わからぬ。賞問を受けても答えるを愛らず「日々新なり」をめざし

人間は掃り籠から囂まで生涯を通じての教育であり、学習であつてわれわれは終生研鑽者古稀行

高が過信になり過信が自惚になる處とここに大きな間違ひの起ること

同年前に興に文化行政課が新設された。我がことのように感じられた。新設の課に勤められる方々の苦勞は並大抵ではないと思ふ。それだけに張り合いもあり、励みもでてくるだろうと思ふ。日夜懸命の努力を重ねる名実ともに立派な実績を挙げて来る

あの頃のこと



昭和四十九年十月十三日、私は。社長の声は電話できた。それは大木工業株式会社創業三十周年で、その力量を名取りにちかいう祝賀會に招待された。社長は今井保氏である。

祝賀會は三日にわたる集りで、ラジオの流る民放関係の番組取材とかからみあわせた催し企画など、手のかかる試みもあり、なかなかの感懐であった。

しかしこの日の電話當時は、なんと書いて今井社長の挨拶であらうと。が、それは何もかもなかった。私は思う。とはいえ、正民間の名取を知らず、全国に直ぐにこの遺品の社長が年代順に社歴をのべはじめたとき、本日の上半世帯者の法が、細かにすきと華やかにあげると、気をもんで居あびていた。

挨拶は中途から朗詠に変わった。自作短歌の朗詠である。

瀧野野(たみのの)に朽つべき 生命(いのち)水もえて 祝会(いのち)で吾が歳良の日 (原文のまま)

作品は又々見えないが、詠法は安入にまわっている。 参事者(同)は一隣屋のみ、それから聞きはれ、最後をよめい

ある異色企業家のはなし

浅間 勝衛

の娘が高熱で苦しんでいた時、そ歌を、三十年も胸のなかにあたたかさを残すために永難にわれぬ、しまっていた人である。 ようと、深夜の病院の廊下で、ひ 創業三十周年記念祝賀會で、社 長の朗詠を聞いたとき、これら 砕いていたという意味の自作の短 話がいまだに私の胸に

きらいな出かせぎ

細金 洋子

夏の仕事が終わる、冬近くになるとこの家のお父さんお母さん 出稼きに行ってしまう。 冬は仕事ができないうち、 村をほなれ、遠くへ出稼きに行 け。そしてまた雪がとけると、田 畑の仕事がまっている。こんな 仕事をしなければならぬのに、 冬の寒い時、家の中で仕事をし 休んでいられる。お父さんお母 さん、早く雪はもたかおわると、 早く雪はもたかおわると、みんなも 早く雪はもたかおわると、みんなも 早く雪はもたかおわると、みんなも

夏の仕事が終わる、冬近くになるとこの家のお父さんお母さん 出稼きに行ってしまう。 冬は仕事ができないうち、 村をほなれ、遠くへ出稼きに行 け。そしてまた雪がとけると、田 畑の仕事がまっている。こんな 仕事をしなければならぬのに、 冬の寒い時、家の中で仕事をし 休んでいられる。お父さんお母 さん、早く雪はもたかおわると、 早く雪はもたかおわると、みんなも 早く雪はもたかおわると、みんなも 早く雪はもたかおわると、みんなも

夏の仕事が終わる、冬近くになるとこの家のお父さんお母さん 出稼きに行ってしまう。 冬は仕事ができないうち、 村をほなれ、遠くへ出稼きに行 け。そしてまた雪がとけると、田 畑の仕事がまっている。こんな 仕事をしなければならぬのに、 冬の寒い時、家の中で仕事をし 休んでいられる。お父さんお母 さん、早く雪はもたかおわると、 早く雪はもたかおわると、みんなも 早く雪はもたかおわると、みんなも

喜びにくる思いがたつた。 三菱銀行足立支店長はじめ、来 賓の祝辞には、社長の懇話と会社 の隆盛を讃えたものが多かった。 会場にしつられたメキシコ、ヤキ、 リンパなどの歴代店が、威勢よく 群る姿をよんでいる。 手にした三木の小舟を一目にのみ ますと、私は体のがままで感懐す てるのを感じた。(元新潟市 公民館長・岩根市在住)

新潟県社会教育講師紹介資料

講師の プロフィール
内容・B5版・32頁
●項目・顔写真・氏名
●現職住所電話・生年
●月日最長学歴・社会教 育関係の経歴・現在の 活動(著書等を含む)
●専門領域
●会費：一部三五〇円
●申込先：新潟市一番 通新潟二丁目新潟県社 会教育協会

資料 歡迎

公民館で作成した資料や 文集印刷集または館報などを 送ってくださいます。 県内の皆さんへも紹介 してまいりたいと思いま す。

投稿 歡迎

感想文でも結構、折にふ れて気持よく走り回って ください。採用文には粗品 を送りますのでおす。

—編集部—

一つに打ちこむ姿

佐藤 司郎

目録を手にすると、まず「私」とだ。 「維新史講座で開眼」「修正証 書」「一役」「仲間の輪が広がる」 等…… 印象にのこった多くの記 述を思い出す。

そこには、一つに打ちこむ者の 姿が、生き生きとした、新鮮な生 活者の姿がある。生きがい求め は意見を書々とべるのであつ た。

そこには、一つに打ちこむ者の 姿が、生き生きとした、新鮮な生 活者の姿がある。生きがい求め は意見を書々とべるのであつ た。

そこには、一つに打ちこむ者の 姿が、生き生きとした、新鮮な生 活者の姿がある。生きがい求め は意見を書々とべるのであつ た。

あとがき

例年になり大層で、なにかと 大へんごとのことです。とくに 臺灣形勢の推移には、日夜をこ ごといたか、さぞおつか げます。しかし春は、徐々にし かも春寒にやっけてまいります。 雪の冬を越した者のみが知る春 の自然こそ、本物の春があるの だということを支持しがたいし ます。

いよいよ、新年度もまぢか、 昭和五十二年度の新潟県は、日 本は、このように進んでいくの でしょう。

全国公民館大会新潟大会でぞ われわれにとつての、ひとつの 大きな一歩にしたものだと感 じます。 (本)